

## 新庁舎が全面開庁 総合庁舎として業務を開始

12月7日、市役所で開庁式が行われ、総合庁舎としての業務を開始しました。

開庁式は業務開始に先立って行われ、市長や市議会議員長の挨拶ののち、さのまるに特別住民票が交付されました。

新庁舎の開庁により田沼行政センター、葛生行政センターで窓口業務を継続していますが、一部の課を除き、ひとつの庁舎になりました。

新庁舎には「市民活動スペース」、さのまるの執務机がある「佐野市紹介スペース」、条件が良ければ富士山が見える「展望ロビー」などがあります。お気軽にお立ち寄りください。



## 第11回さのマラソン大会

12月13日、佐野市陸上競技場を発着点として、さのマラソン大会が3,248人のランナーが参加し行われました。

今回の大会では10キロのコースが復活し、フルマラソン、10キロ、5キロ、2キロ、親子ジョギングの種目がある多彩な大会となりました。

参加された選手・役員・ボランティアの皆さん、お疲れ様でした。また、沿道で声援して下さった皆さん、選手の走行に配慮して下さった皆さん、ありがとうございました。

【大会結果】(各コース1位タイム者のみ掲載)

フルマラソン：小林剛寛さん(埼玉県)

10キロ：立川幸太さん(佐野市)

5キロ：樋口翔太さん(佐野市)

2キロ：古橋昂大さん(佐野市)

親子ジョギング

小学生1・2年生：神野将良さん・月歌さん(群馬県)

小学生3・4年生：吉田哲也さん・翔真さん(福島県)



## 女性リーダー育成して30年

11月21日、地域の女性リーダー育成のための『栃木県女性教育推進連絡協議会』佐野支部設立30周年記念式典が、170名を越える参加者のもと執り行われました。

佐野支部は県下最大の支部であり、男女共同参画に取り組む活動を30年間途絶えることなく継続し、会員がそれぞれ活動する際の“とまり木”の役割を果たしてきました。



式典後、佐野市出身の阿部淑子さん（社会福祉法人「けやきの郷」理事長）を講師に迎え、「障がいを持つ子らとの旅」と題した講話をされました。テレビ局を断腸の思いで退社され、自らのお子さんを含む重度の知的障害のある自閉症児とその親で集団自立を目指す会を発足させ、その30年に渡る活動報告は会場を感動で埋め尽くしました。

男女共同参画とは女性が権利を勝ち取るばかりでなく、ひとりひとりがエンパワーメントを身につけ、人が本来持っている生きる力を結集し、地域社会の向上を目指していくことではないかと感じました。（市民記者 永倉文子）

## さのマラソン大会を支えたボランティアの皆さん

マラソンの大会に先駆け、12月5日、ランナーたちの景品を詰める作業が、市・内外から25人の方が参加し行われました。

また、大会当日の運営には、各地区体育協会の皆さんやスポーツ少年団、ここっとゆるすの中学生・高校生、葛生リーダーズ、観光ボランティアなど多くの方々にご協力いただいています。

「支えるスポーツ」としてご参加いただき、ありがとうございました。



## 唐沢山のむかで退治(ごみ拾い)

12月6日(日)に唐沢山周辺8町会で清掃活動が行われました。

唐沢山周辺の環境美化に向けた取り組みとして、平成23年度より地元町会が主催し、ごみをむかでになぞらえた「唐沢山城跡むかで退治」という環境美化活動が始まり、今年で5回目を迎えました。

ボランティアの数は、地元町会、各種団体、地元の関係企業のほか佐野日本大学高等学校と中等教育学校より150人の参加があり、全体で約600人と大変多くの方々に参加していただき、約2.6トンものごみが集まりました。

きれいな環境を維持しておく、ごみが捨てられにくいといわれています。皆さんも環境美化を心がけてください。

